

事務事業名	夜間休日庁舎警備事業	所属部	総務部	所属課	総務課	
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	総務G	課長名	稲田和久
	施策名	(37)時代にあった行政サービスの実現	担当者名	稲田和久	電話番号	0854-40-1021
	目的	行政機能	意図	効率、公平なサービスを提供する。	(内線)	3542
	基本事業名	(108)業務と組織機構の見直し	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 2	市有施設等管理事業 庁舎管理事業	
目的	組織・機構、職員	意図	定員管理計画に基づく職員数で、効率よくサービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本庁市役所の閉庁時、夜間及び休日にあつては、業務委託により警備員を2名配置し、庁舎の警備、災害発生等緊急時の連絡、市民窓口での届出等の受付などの業務を実施する。 警備員は4人体制で、1日2名勤務の交代制。 ①年間の業務委託契約の締結、②毎月、業務委託費の月額支払、③日々の業務引継、④各部署との調整

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) ○業務委託契約の締結と委託費用の支払い事務 ○警備員との日々の業務引継ぎ ○業務の日々の調整	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ○業務委託契約の締結と委託費用の支払い事務 ○警備員との日々の業務引継ぎ ○業務の日々の調整 ○各総合センター警備との委託業務の調整を行う。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	夜間及び休日の警備日数	日	365	366	365	365
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	市の組織体制	ア	警備員の数	人	4	4	4	4
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
○夜間及び休日の窓口として、業務連絡や緊急時の対応をスムーズに行う。	ア	庁舎警備に対する市民からの苦情	件	0	0	0	0	
	イ	市の行政サービスに納得している市民の割合	%	67.0	66.7	69.5	70.0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
庁舎管理業務委託料。	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	7,181	7,197	7,156
	事業費計 (A)	千円	7,181	7,197	7,156	7,182
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2	
	延べ業務時間	時間	40	92	100	
	人件費計 (B)	千円	156	363	392	
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,337	7,560	7,548		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
○合併により木次町庁舎から雲南市暫定本庁舎となったことから、庁舎の機能権限、対象業務量、職員数は倍増し、警備員の業務範囲も拡大した。 ○住民ニーズも多様化しつつあり、休日の問い合わせも複雑になってきている。	特になし。	総合センターの見直しの中で警備の一本化が検討されてきたが、最終的にはセンターへ引き続き配置することになった。 市民環境部から窓口業務における各センターの実施方法について統一を図るよう求められている。

事務事業名	夜間休日庁舎警備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 委託業務内容、委託費用の見直しにより、住民サービス向上の余地はある。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 防災面や緊急業務連絡など、夜間、時間外の警備及び業務連絡体制の確保は必須である。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) 各総合センター警備業務と一体的な考え方をすることにより、連携の可能性はある。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 各総合センターのあり方の基本方針に基づき業務体制の検討を行う。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 人材確保に苦慮しており委託料を現状以上に削減することは難しい状況にある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最小限の事務処理に係る人件費である。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 本庁と各総合センターにおける警備員の業務量、業務内容、委託料単価ともに少しずつ異なっており調整が課題となっている。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		本庁舎の警備業務については、総体的に問題なく実施できた。本庁と総合センターの警備業務委託の比較表を作成した。北朝鮮ミサイル発射やPM2.5の連絡体制等、休日・夜間における危機管理で協力いただく機会が多くなってきている。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		
○組織機構の見直し方針に基づき、本庁と総合センター間の委託業務内容と委託費用の見直しを行う。 平成25年度において警備員の代表者会議を開催する。 ○新庁舎建設後の警備体制について、各総合センター警備業務との連携のあり方について検討を行う。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																				